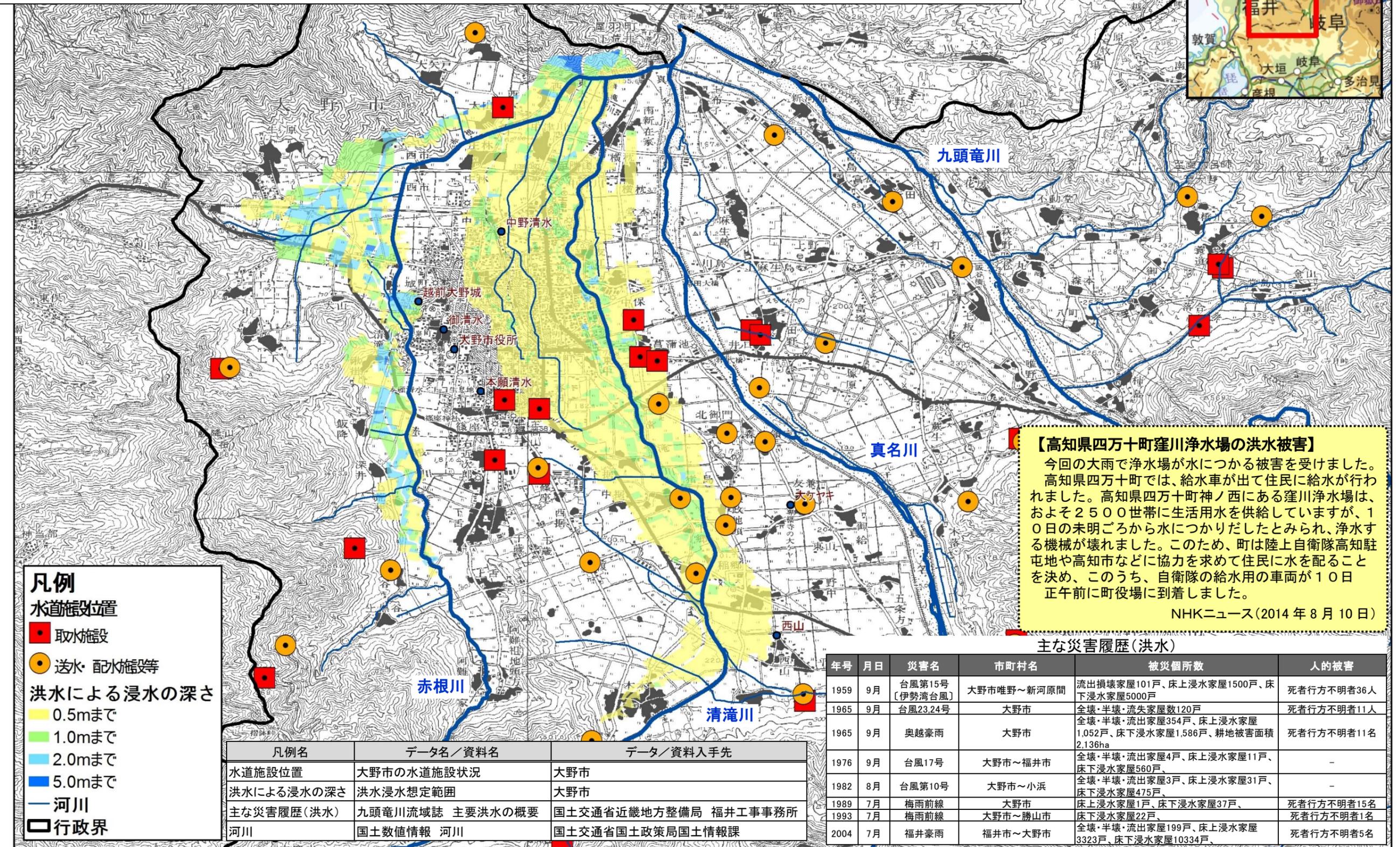


**図4 洪水発生時における上水道リスク評価マップ**

2014年（平成26年）8月高知県四万十町の窪川浄水場が、大雨により冠水し機能不全が発生したことを踏まえ、取水施設および送水・配水施設等の位置を、洪水浸水想定区域とともに図示した。

大野市内の水道は地下水か伏流水のいずれかを水源としている。真名川西岸にある15の取水施設のうち、6箇所が浸水想定区域内に位置していることがわかった。大野市の世帯数の約70%が井戸を所有しており（図3）、人口100人あたり約24.5個の井戸を持つことから、上水道施設の機能が失われた際も、洪水の影響が地下水へ及ぶまでの一定期間内であれば地下水の利用は可能と考えられる。



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）、数値地図50000（地図画像）、数値地図25000（地図画像）及び電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平27情複、第758号）」

注意！！ 本資料の作成にあたっては、専門家の助言をうけておりますが、利活用にあたっては、専門家の監修を受けるようにして下さい。